

家畜の伝染病の 侵入防止への 協力をお願い

STOP

今、世界では**アフリカ豚熱**と**口蹄疫**という家畜の伝染病のまん延が大きな問題となっています。これらは、**肉製品や衣服、靴**などを介して**感染拡大**します。これらが日本に侵入すれば、**畜産物の安定供給に深刻な悪影響**を与えるおそれがあります。国内への侵入を防ぐため、**皆様の協力**が必要です。

01 アフリカ豚熱、口蹄疫とは

アフリカ豚熱 (ASF)

特性 致死率はほぼ100% (軽急型、急性型の場合)
ウイルスは長期間にわたって環境中に生存 (冷凍なら**1,000日**以上も)
• pH4~11でも、血液や糞便中でも、**豚肉や加工品(燻漬ハム等)**の中でも生存できる

予防・治療 有効な治療法や予防法はない、ワクチンはない

損害 中華人民共和国で死亡・殺処分により飼養頭数が4割減り、豚肉価格が2倍以上に(2019年の事例)

口蹄疫 (FMD)

特性 口や蹄にできた水疱が痛くてエサを食べなくなり、産業動物としての価値が著しく低下
ウイルスの感染力が極めて強い
• 空気感染する(風に乗って**60km**以上離れた農場に移った例も)
• 豚1頭が1日に排出するウイルス量は牛を最大**1,000万頭**感染させる量に相当

予防・治療 有効な治療法はない、ワクチンはあるが感染自体は防げない

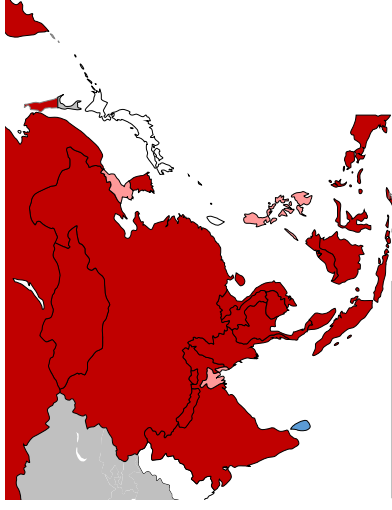
損害 過去に国内で30万頭の牛・豚を殺処分し、2,350億円の被害
(2010年の発生に関する宮崎県の試算、関連産業含む)

※ いずれの病気も人への感染の心配はない

注：海外では口蹄疫ウイルスに極めて濃厚に接して感染した事例がごくまれに報告されるが、通常の生活の中で人に感染することはない。
方が一感染した場合は軽い発熱や口内炎になる程度で速やかに回復し、死亡例はない。

02 アジアでの発生状況

- アフリカ豚熱は、2018年に中国に侵入後、**アジア各国に拡大**。
 - 口蹄疫は、**多くの国で継続的に発生**。
 - いずれの病気も発生していないのは**日本や台湾などごく限られた国・地域**。
- ※ 日本や台湾では過去に口蹄疫が発生したが、その後消滅している。



2024年10月現在
出典：WOAH, 各国のウェブサイト等
注1：本図表は2024年10月現在のもので、最新の発生状況は必ずしも反映されていません。
注2：口蹄疫の発生状況は、WHOのウェブサイト「[Global epidemiology of Foot-and-mouth disease](#)」を参照してください。
注3：口蹄疫の発生状況は、WHOのウェブサイト「[Global epidemiology of Foot-and-mouth disease](#)」を参照してください。

国・地域名	初発年
中国	2018年
香港、モンゴル、北朝鮮、韓国、ベトナム、ラオス、カンボジア、フィリピン、ミャンマー、インドネシア、東ティモール	2019年
インド	2020年
マレーシア、タイ、ブータン	2021年
ネパール	2022年
シンガポール、バングラデシュ	2023年

国・地域名	発生年
中国(2)、ロシア(1)、ベトナム(28)、カンボジア(41)、マレーシア(21)、タイ(47)、インド(106)、ブータン(24)、ネパール(40)、モンゴル(102)、スリランカ(36)	2021年
中国(1)、カンボジア(24)、タイ(118)、マレーシア(28)、インドネシア(不明)、インド(103)、ブータン(3)、ネパール(66)、モンゴル(3)、スリランカ(57)	2022年
中国(4)、韓国(11)、ネパール(15)、カンボジア(3)、マレーシア(7)、インドネシア(不明)	2023年

注：発生年不明は、発生年が不明な事例や発生年が長らく不明な事例を含む。
注：発生年不明は、発生年が不明な事例や発生年が長らく不明な事例を含む。

03 侵入を防ぐためにできること

1 海外から肉の入った食品を持ち込まない

- 感染した肉を動物が食べると感染
- 不法持込された肉製品から**生きたアフリカ豚熱ウイルス**を発見



2 野外に肉の入った食品を捨てない

- ハイキングのお弁当やバーベキューの**食べ残し、ごみ**からも感染
- アフリカ豚熱に感染した肉の入っていた**トレーをイノシシが舐めた**だけで感染
- 海外では**野生イノシシ**でアフリカ豚熱がまん延し、根絶が困難に



3 帰国後1週間は動物に近づかない

- 服や靴についたウイルスを介しても感染



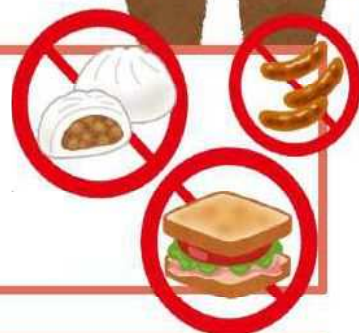
- ・ 登山・キャンプ・サイクリング等のアウトドアレジャーを楽しむ皆様へ!
- ・ 山林等でお仕事をされる皆様へ!

野生動物に感染するウイルス
(豚熱・アフリカ豚熱) などが
侵入することを防止するために!



1

肉を含む食品は、野外で絶対に捨てないでください!



2

靴や器具等に付いた土は入山前、下山時にしっかり落としましょう。



3

家畜がいる施設には近寄らないようにしましょう。



4

野生動物や罾・柵がある場所に近寄らないようにしましょう。



5

消毒場所では指示に従いましょう。

イノシシの死体を発見したら
管轄の自治体に連絡ください。



Attention international travelers!

해외 여행객 주목!

致所有入境日本的旅客！

海外からの旅行者の皆様へ！

Help prevent the entry of viruses that infect animals!

동물을 감염시키는 바이러스 침입 방지!

為防止感染動物的病毒入侵！

動物に感染するウイルスが侵入することを防止するために!



1

It is prohibited to bring food containing meat into Japan, or to leave food containing meat outdoors!

禁止攜帶含有肉類的食品入境日本！禁止亂拋垃圾！

일본으로의 육류 반입은 금지되어 있습니다. 함부로 버리는 것 또한 금지입니다! 日本への肉製食品の持ち込みは、禁止されてます。ポイ捨て禁止です!



2

Ensure your shoes are free of soil before going out!

出門前請確保鞋子沒有污垢！

신발에 묻은 흙은 반드시 털고 난 후에 외출해 주십시오.

靴の土は落としてから外出しましょう。



3

Avoid proximity to livestock facilities!

避免靠近畜牧設施

가축이 있는 시설에는 접근하지 않도록 하십시오.

家畜がいる施設には近寄らないようにしましょう。



4

Steer clear of wild animals, traps and fenced areas!

避免接近野生動物以及設有陷阱和柵欄的區域

야생 동물 및 덫, 울타리가 있는 곳에는 접근하지 않도록 하십시오.

野生動物や罠・柵がある場所には近寄らないようにしましょう。



5

Follow instructions at disinfection points!

請遵循消毒站的指示

소독 장소에서는 지시에 따라 주십시오.

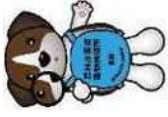
消毒場所では指示に従いましょう。



鹿児島県農政部家畜防疫対策課 Tel 099-286-3224

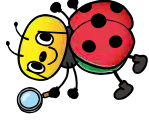
(Kagoshima Prefecture

Livestock Disease Control and Prevention Division)



来日するあなたへのお願い

肉製品や果物・野菜等は日本に持ち込めません！




国際郵便でも送れません。母国の家族や知人に国際郵便で肉製品や果物・野菜等を送らないように伝えてください。

(国際郵便で検査を受けていない肉製品、果物・野菜等を受け取った場合は動物検疫所又は植物防疫所に御連絡ください。)

- ・海外で使用した汚れた作業着、作業靴、長靴は持って来ないでください。
- ・日本に来る前1週間以内に、海外の家畜に触れないでください。また、日本に来てから1週間は、家畜に触れないでください。



- ・海外から日本への肉製品や果物・野菜等の持込みは法律で厳しく制限されています。
- ・日本に肉製品や果物・野菜等を違法に持ち込むと重い罰則（3年以下の懲役又は300万円以下（法人の場合は5,000万円以下）の罰金等）の対象になります。
- ・悪質な持込みと判断したら警察に通報します。
- ・違法な持込みにより、逮捕された人もいます。
- ・輸入できない畜産物を持っている場合、入国が認められないことがあります。



農林水産省



動物検疫



植物防疫